



10/11

スポーツの秋、全力で駆け抜けるー 白鷹町小学校陸上競技大会を開催

町内の各小学校5、6年生の児童たちが荒砥小学校に集まり、陸上競技大会が行われました。

100メートル走をはじめ、走り高跳びやジャベリックボール投げなど、さまざまな種目で競い合うこの大会。この日のために、放課後の時間を使い必死に練習に励んできました。その成果を存分に発揮でき喜び児童もいれば、思うような結果にならず涙する児童も。一喜一憂する場面がありましたが、この日のために努力を積んできた児童たちに、見学に来ていた大勢の方から健闘をたたえる大きな拍手が送られました。



▲スタートの合図とともに全力で駆け抜けました

10/26

地域林業振興の架け橋として 鮎貝教育の森で記念植樹を実施

この日、鮎貝小学校近くの鮎貝教育の森にて「デロイトトーマツグループ ethics(エシックス)の森記念植樹」が開催されました。

当日は、さわやかな秋晴れのもと、地元小学生やデロイトトーマツグループ社員、町内関係者約80人が参加しスキー場として使用されていた斜面約20アールにアカマツ250本の植樹を行ったほか、昨年度植樹を行った箇所の下刈りや今年度整備した散策路を使った森林散策を行いました。この取組は、令和3年から行っており今年で3回目の開催となりました。

参加した子どもたちは普段とは違う森林に触れ合う体験を行い、いきいきとした姿が見られました。



▲やさしく丁寧に植えていきました

11/1

苦難を乗り越え、その思いを伝えるー 白鷹中生が各種コンクールで優秀な成績を収める

白鷹中学校3年生の井上愛奈さんと、2年生の迎田心優さんが各種コンクールで優秀な成績を収めました。

井上さんは、第63回山形県少年の主張大会において最優秀賞を受賞。障がいを抱えながらも剣道に出会い、挑戦することが周りへの感謝になるという主張で、北海道・東北ブロック代表に選出され、11月24日に開催される全国大会へ出場します。

迎田心優さんは、第49回「小さな親切」作文コンクールにおいて2万部を超える応募の中から優秀賞を受賞。入院中に友人からの励ましの言葉に救われ、どんなにちいさな言葉でも、気持ちのこもった温かい言葉は誰かを救うという内容の作文で、優秀賞を受賞しました。



▲左から迎田心優さん、井上愛奈さん、佐藤町長



9/30

長年の功績をたたえて
山形県身体障害者福祉協会会長表彰を受彰

7月に第56回山形県身体障がい者福祉大会(山形大会)が山形市で開催され、金田茂也さん(横田尻)が、山形県身体障害者福祉協会会長表彰(自立更生者表彰)を受彰されました。そして今回、その報告のために来庁されました。

これは、障がいを克服し、他の模範となる方に贈られるものです。金田さんは、白鷹町身体障害者相談員として、長年にわたって身体に障がいのある方の相談活動に従事し、障がい者の自立と社会参加への促進に大きく貢献されました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする金田さん

10/2

有名選手と地域の新たなつながり
モンテディオ山形の選手と稲刈り体験

この日、中山地区の田んぼで行われた稲刈り体験にモンテディオ山形の坂元稀吏也選手が参加しました。

坂元選手は、モンテディオ山形が展開する「35市町村アンバサダープロジェクト」で、今年度の白鷹町担当となっております。

稲刈りは初めてという坂元選手。稲刈り体験の主催者である土屋明美さんより鎌の使い方と稲束の作り方を教わり、時折笑みをこぼしながら丁寧に作業をすすめていました。地元の有名選手が訪れたとあり、地域の方も大勢駆けつけ、新たな盛り上がりが生まれたようでした。



▲土屋さんより稲の束ね方を教わる坂元選手

10/6

ごみ拾いはスポーツだ!!
白鷹町環境フェアを開催

この日、白鷹町産業センターを会場に「白鷹町環境フェア」が開催されました。

スポGOMI白鷹大会では、7歳から80代まで13チーム約70名が参加し、荒砥地区内を会場にして、一定時間内に拾ったごみの種類と量を競い合い、老若男女が楽しみながら環境美化に汗を流しました。

また、アトラクション&特別講演では、NoPla ☆アクションの皆さんの取組紹介と、鶴岡市立加茂水族館の里見嘉英氏によるリモートでの特別講演がありました。

- ▶ NoPla ☆アクションの皆さんの発表
- ▼各チームに分かれてスポGOMIにチャレンジしました。

